

社会資本総合整備計画 事後評価書																
計画の名称	下水道の防災・減災対策（防災・安全）															
計画の期間	平成 2 6 年度 ~ 平成 3 0 年度 (5年間)												重点配分対象の該当			
交付対象	袋井市															
計画の目標	計画的に防災対策・減災対策等を実施し、安全・安心なまちを実現する。															
	局地的な豪雨による浸水被害に対して、治水対策を実施することにより、安全・安心な市民生活の確保を図る。															
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		610	A	604	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		0.98	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H26当初)	(H28末)	(H30末)
1	避難路等のマンホール浮上対策を0% (H26) から100% (H30) に向上させる。			
	安全安心避難路確保率 = 浮上対策済マンホール数 / 浮上対策すべきマンホール数	0%	50%	100%
2	マンホールポンプの長寿命化率を0% (H26) から100% (H30) に向上させる。			
	マンホールポンプ長寿命化率 = マンホールポンプ長寿命化・更新数 / 対象マンホールポンプ数	0%	50%	100%
3	平成16年11月洪水により原野谷川左岸第 3 排水区及び小笠沢川右岸第 3 排水区で発生した浸水面積0.8haの被害を軽減する。			
	平成16年11月洪水（最大時間雨量76mm）と同規模の降雨に対し、浸水被害を受ける面積。	8 × 1/10ha	× 1/10ha	2 × 1/10ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	袋井市	直接	袋井市	管渠（ 汚水）	改築	マンホール浮上対策事業	マンホール浮上対策 1式	袋井市	■	■	■	■	■	44		-	
		総合地震																		
		A07-002	下水道	一般	袋井市	直接	袋井市	管渠（ 汚水）	改築	マンホールポンプ長寿命 化・更新事業	マンホールポンプの長寿命化 ・更新事業 1式	袋井市	■	■	■	■	■	61		-
	ストックマネジメント																			
	A07-003		下水道	一般	袋井市	直接	袋井市	管渠（ 汚水）	新設	ストックマネジメント計 画策定事業	ストックマネジメントに係る 基礎調査	袋井市			■	■	■	109		-
		ストックマネジメント																		
		A07-004	下水道	一般	袋井市	直接	袋井市	管渠（ 雨水）	新設	浸水対策事業（ハード対 策・再度災害防止）	雨水渠 B2000×H1500 L=2 54m、吐口工 1式	袋井市			■	■		390		-
	100mm/h安心																			
												小計						604		
												合計						604		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	袋井市	直接	袋井市	管渠（ 汚水）	新設	防災計画策定事業	BCP策定 1式	袋井市	■					6	-	
		BCPを基幹事業と一体的に策定することにより、下水道施設が被災した場合でもその機能を維持することができる。																	
		総合地震																	
											小計						6		
											合計						6		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果を踏まえて下水道部局及び関係部局により評価した。	令和5年7月
	公表の方法
	袋井市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	安全・安心なまちを実現するため、避難路等のマンホール65基の浮上防止対策をおこない、災害に備える環境を整えるとともに、12箇所のマンホールポンプ長寿命化対策をおこなった。 また、雨水渠及び吐口工を整備することで、局地的な豪雨による浸水面積を0.8haから0.2haに軽減することができ、安全・安心な市民生活の確保を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、浸水被害を軽減するため、浸水対策を実施し、安全・安心な市民生活の確保を図る。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	安全安心避難路確保率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	マンホールポンプ長寿命化率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3	浸水被害の軽減		
	最 終 目標値	2 × 1/10ha	
	最 終 実績値	2 × 1/10ha	